



トラフィック メトリックの管理

- ・ [トラフィック メトリックの管理方法 \(1 ページ\)](#)

トラフィック メトリックの管理方法



(注) Mediatrace 機能は、最新の IOS リリースで廃止されました。

は、エンドポイントとサイト上でのリアルタイム転送プロトコル (RTP) と TCP のアプリケーショントラフィック パスの追跡をサポートしています。データ パスの追跡は、Cisco Medianet と Web Services Management Agent (WSMA) に依存します。どちらも、RTP と TCP のデータ ストリームに伴う問題を切り分けて修正するための Cisco IOS ソフトウェアと Catalyst スイッチの組み込み機能です。は、Cisco Medianet と WSMA のすべてのバージョンをサポートしており、ルータ上でのこれらの機能の有効化を容易にします。

Cisco ネットワーク解析モジュール (NAM) トラフィック モニタリング データが利用可能ではない場合、が Cisco Medianet Performance Monitor と Cisco IOS NetFlow を使用した RTP サービス パスのトレース (Mediatrace) をサポートします。適切に設定されていれば、Mediatrace は、RTP と TCP のアプリケーション問題を解決する最も有益なツールになります。

関連トピック

- [Mediatrace によるトラフィック メトリックの前提条件 \(1 ページ\)](#)
- [ルータとスイッチ上での Mediatrace の設定 \(3 ページ\)](#)
- [ルータとスイッチ上での WSMA 機能と HTTP \(S\) 機能の設定 \(4 ページ\)](#)

Mediatrace によるトラフィック メトリックの前提条件

の Mediatrace 機能を使用する前に、下記の「関連項目」に示す必須セットアップタスクを完了する必要があります。これらの必須タスクは、シスコルータ (ISR、ISR G2、ASR) と NAM デバイスがネットワークトラフィック (RTP と TCP) のパフォーマンス測定指標を監視するデータ (メトリック コレクション) ソースとして機能できるようにするために必要です。

関連トピック

- [NAM デバイスをデータ ソースとして使用するための の設定](#) (2 ページ)
- [ルータとスイッチをデータ ソースとして使用するように を設定する](#) (3 ページ)

NAM デバイスをデータ ソースとして使用するための の設定

Cisco NAM を使用してネットワーク トラフィックを監視する場合は、RTP と TCP の両方のトラフィックのサービス パスを追跡するための次の手順を実行します。

-
- ステップ 1** システムに NAM を追加します。この操作は、検出を使用して自動的に実行するか、または一括インポートあるいは Device Work Center を使用して手動で実行することができます（『[Cisco Prime Infrastructure User Guide](#)』の「*Add and Organize Devices*」を参照）。
- ステップ 2** NAM データ収集を有効にします。手順は次のとおりです。
- a) [サービス (Services)] > [アプリケーションの可視性と制御 (Application Visibility & Control)] > [データ ソース (Data Sources)] の順に選択します。
 - b) [NAM データ コレクタ (NAM Data Collector)] セクションで NAM を選択し、[有効 (Enable)] を選択すると、選択した NAM でのデータ収集が有効化されます（『[Cisco Prime Infrastructure User Guide](#)』の「*Enable NAM Data Collection*」を参照）。
- ステップ 3** 組織のサイト構造を作成し、該当するサイトに主要ルータを割り当てます。
- a) [マップ (Maps)] > [サイト マップ (Site Maps)] を選択します。
 - b) 1 つ以上のキャンパス、ビルディング、フロアを追加します。
- ステップ 4** サイトと認可されたデータ ソースを関連付けます。
- a) [Services] > [Application Visibility & Control] > [Data Deduplication] の順に選択します。
 - b) [データ重複除去の有効化 (Enable Data Deduplication)] をクリックし、[適用 (Apply)] をクリックします。その後で、ART、トラフィック分析、および音声/ビデオデータに関する信頼できるソースを割り当てることができます（[データ重複排除の有効化](#)を参照）。
- ステップ 5** サイトとエンドポイント サブネットを関連付けます。
- a) [サービス (Services)] > [アプリケーションの可視性と制御 (Application Visibility & Control)] > [エンドポイント アソシエーション (Endpoint Association)] の順に選択します。
 - b) サブネットとサイトを関連付けます（『[Cisco Prime Infrastructure User Guide](#)』の「*Associate Endpoints with a Site*」を参照）。
- これに失敗した場合は、これらのエンドポイントに対して収集されたデータの中でサイトが [未割り当て (Unassigned)] に設定されます。
- ステップ 6** Mediatrace と WSMA に対応するようにルータを設定します（『[Cisco Prime Infrastructure User Guide](#)』の「*Troubleshoot RTP and TCP Flows Using Mediatrace*」を参照）。
- 詳細については、「[システム ジョブの制御](#)」を参照してください。
-

ルータとスイッチをデータソースとして使用するようにを設定する

シスコのルータとスイッチを使用してネットワークトラフィックを監視する場合は、次の手順を実行して RTP と TCP の両方のフローのパス追跡を有効にします。

ステップ 1 組織のサイト構造を作成し、該当するサイトに主要ルータを割り当てます。

- a) [マップ (Maps)] > [サイトマップ (Site Maps)] を選択します。
- b) 1つ以上のキャンパス、ビル、およびフロアを追加します (詳細については、『[Cisco Prime Infrastructure User Guide](#)』の「*Work With Site Maps*」の項を参照)。

ステップ 2 サイトと認可されたデータソースを関連付けます。

- a) [Services] > [Application Visibility & Control] > [Data Deduplication] の順に選択します。
- b) [データ重複除去の有効化 (Enable Data Deduplication)] をクリックし、[適用 (Apply)] をクリックします。その後で、ART、トラフィック分析、および音声/ビデオデータに関する信頼できるソースを割り当てることができます ([データ重複排除の有効化](#)を参照)。

ステップ 3 サイトとエンドポイントサブネットを関連付けます。

- a) [サービス (Services)] > [アプリケーションの可視性と制御 (Application Visibility & Control)] > [エンドポイントアソシエーション (Endpoint Association)] の順に選択します。
- b) サブネットとサイトを関連付けます (『[Cisco Prime Infrastructure User Guide](#)』の「*Associate Endpoints with a Site*」の項を参照)。

これに失敗した場合は、デフォルトで、これらのエンドポイントに対して収集されたデータの中でサイトが [未割り当て (Unassigned)] に設定されます。

ステップ 4 互換性のあるルータを Cisco Medianet Performance Monitor 用に設定します (「[ルータとスイッチ上での Mediatrace の設定](#)」を参照)。

ステップ 5 Mediatrace と WSMA 用にルータを設定します (『[Cisco Prime Infrastructure User Guide](#)』の「*Troubleshoot RTP and TCP Flows Using Mediatrace*」の項を参照)。

関連トピック

[データ重複排除の有効化](#)

ルータとスイッチ上での Mediatrace の設定

は、ルータとスイッチ上での Mediatrace の設定にすぐに使えるテンプレートを提供しています。サービスパスを追跡する場合は、必ず、結果に含めるすべてのスイッチとルータにこの設定を適用する必要があります。

Mediatrace でサポートされるすべてのルータとスイッチのリストを確認するには、「[テンプレートの展開](#)」を参照してください。

はじめる前に

次のタスクを実行する必要があります。

- NAM デバイスをデータソースとして使用するための [設定](#)

- ルータとスイッチをデータソースとして使用するための の設定

[Mediatrace - レスポンダ - 設定 (Mediatrace-Responder-Configuration)]テンプレートを設定するために、次の手順を実行します。

ステップ 1 [設定 (Configuration)]>[テンプレート (Templates)]>[機能およびテクノロジー (Features & Technologies)]>[CLI テンプレート (CLI Templates)]>[システムテンプレート - CLI (System Templates - CLI)]>[Mediatrace - レスポンダ - 設定 (Mediatrace-Responder-Configuration)] を選択します。

ステップ 2 テンプレートに関して必要な情報を入力します (「[Field reference for the template](#)」参照)。

ステップ 3 [新規テンプレートとして保存 (Save as New Template)] をクリックし、新しいテンプレートに名前と説明を付けます。[保存 (Save)] をクリックします。

ステップ 4 [展開 (Deploy)] をクリックし、新しいテンプレートを展開します。

詳細については、「[Enabling NetFlow Data Collection](#)」、「[Field Reference: Mediatrace-Responder-Configuration](#)」、および「[Deploying Templates](#)」を参照してください。

ルータとスイッチ上での WSMA 機能と HTTP (S) 機能の設定

サービスパスの詳細を追跡するには、HTTP プロトコル経由の Web Services Management Agent (WSMA) がルータとスイッチ上で Mediatrace コマンドを実行する必要があります。この機能は、「ルータとスイッチ上での Mediatrace の設定」 (「[関連項目](#)」を参照) の手順に従って設定したときと同じルータとスイッチのセット上で行います。

ステップ 1 [設定 (Configuration)]>[テンプレート (Templates)]>[機能およびテクノロジー (Features & Technologies)]>[CLI テンプレート (CLI Templates)]>[システムテンプレート - CLI (System Templates - CLI)]>[HTTP-HTTPS サーバーおよび WSMA 設定 - IOS (HTTP-HTTPS Server and WSMA Configuration-IOS)] の順に選択します。

ステップ 2 テンプレートに関して必要な情報を入力します (「[Field reference for the template](#)」を参照)。

必ず HTTP プロトコルを有効化してください。現在のバージョンの Prime Infrastructure では、HTTPS 経由の WSMA がサポートされていません。

ステップ 3 [新規テンプレートとして保存 (Save as New Template)] をクリックし、新しいテンプレートに名前と説明を付けます。[保存 (Save)] をクリックします。

ステップ 4 [展開 (Deploy)] をクリックして、新しいテンプレートを展開します。

デバイスを Prime Infrastructure に追加する際には、そのデバイスの HTTP ユーザーとパスワードを指定する必要があります。

詳細については、「[Field Reference: HTTP-HTTPS Server and WSMA Configuration-IOS](#)」、「[Deploying Templates](#)」、および「[Add Devices to Prime Infrastructure](#)」を参照してください。

関連トピック

[ルータとスイッチ上での Mediatrace の設定](#) (3 ページ)

翻訳について

このドキュメントは、米国シスコ発行ドキュメントの参考和訳です。リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動/変更されている場合がありますことをご了承ください。あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。